

編集後記

シンポジウムを終えて

報告書編集委員 藤掛洋子

石川先生が藤掛の授業を聴講され、「藤掛先生の分野はリスクをポジティブに捉えるのですか？ 私の分野ではどうしてもネガティブに捉えてしまうんですね」と。こんな会話から都市科学シンポジウムの構想が始まりました。都市科学部の教員たちがやっていることはとても面白くて、共通点もたくさんあります。シンポジウムの準備にかけた時間は膨大でしたが、得たものも沢山ありました。学生たちのパワーにも脱帽です。都市科学の未来に乾杯！

報告書編集委員 石川正弘

シンポジウム実行委員はたいへんで担当したくないと思っている方は多いかもしれません。私は正直有意義に感じました。もう一度担当しても良いと思っていますが、この美味しい役を独占しないようにほかの方に譲りたいと思います。実行委員会打ち合わせを約20回ほど繰り返す中で、さまざまな視点からのお話を聞けて文理融合・分野横断を実行委員会が今まさに実行しつつあるなど実感していました。この打ち合わせを配信しても面白そうですねと実行委員会では話していました。まさに実行委員の役得であると思います。学生・職員・教員の三位一体感もよかったですと思います。

報告書編集委員 三浦倫平

話すのが下手なので当初は裏方を担当するはずだったのですが、藤掛先生の熱いお誘いを受けてパネリストを担当させていただきました。結果的に役不足感は否めませんでしたが、都市科学部シンポジウムがいかに色々なことを検討し計画をしているものなのかを知れて、非常に貴重な経験でした。特に藤掛先生や石川先生が学部生のことを常に念頭に置いて考えていらしゃったのが印象的でした。

学生スタッフ 猪俣悠介

学生実行委員の猪俣です。この度は無事にシンポジウムが終了した事、大変嬉しく思います。第二部の学生企画は今年からの試みで前例がなかったため、企画に大変苦労いたしました。また、運営面でも非常にバタバタしてしまい、反省の気持ちでいっぱいです。ぜひとも来年の担当の方は早め早めの運営を心がけてください…。何はともあれ結果として多くの人から好評をいただけたため、ほっと胸を撫で下ろす思いです。来年以降のシンポジウムも楽しみにしています。

学生スタッフ 入江遥斗

従来シンポジウムとは異なる形式で、先生方・学生メンバーで本企画を「共創」できたこと、大変嬉しく思います。本シンポジウムでは「複眼的思考からよみとくリスク」「都市科学部をVISUALIZEする」という2つの観点から、都市科学／都市科学部に対する認識領域を拡大・深化すること・都市科学部での学びを自らの得意分野で出力し、社会に還元することを目的に設定しました。第2部のバーチャル空間の設計・運営は学生運営メンバーの先輩方が中心となり、多くの団体・学生の皆さまにご協力いただきました。見応えのあるコンテンツをご提供いただき、とても有意義な学び・気づきの機会となったのではないのでしょうか。この取り組みを通し、都市科学部生はもちろん、都市科学部に関わる全ての皆さまが、より良い都市社会の共創に向けてアクションを起こすことを望みます。

学生スタッフ 田名麻衣子

裏話として言えることは、第二部で使われるスペシャルチャット本番の前日まで仕様が分かっていなかったことですかね。使うのも初めてで、使い方講座の時も参加できていなかったため、実行委員なのに全然分かっていませんでした。すみません。今回のシンポジウムは、他の学生実行委員のかたが素晴らしすぎて、頭が上がらなかったなと思っています！お二人本当にありがとうございました。一緒に形作れてよかったです！